

SHIN CLUB 276

(株)辰 東京都渋谷区渋谷3-8-10 JS渋谷ビル5F

tel/03-3486-1570 fax/03-3486-1450



「牛込神楽坂ハウス」 撮影：フォワードストローク

今月のトーク/monthly talk

新しく懐かしいくらしの風景

写真は、昨年12月に竣工いたしましたコーポラティブハウスです。

今回ご紹介させていただく建物のある新宿区は、23区のなかでも実にさまざまな特色のある地区が混在しています。区内で建築を計画する際には、まず「新宿区景観まちづくり条例」に基づき対象地区であるかどうかの確認、対象であれば事前協議が必要になります。今回の計画地は、「粋なまち神楽坂地区」や「潤いと歴史かおる四谷駅周辺地区」、「水とみどりの神田川・妙正寺川地区」など制限のある地区ではないものの、個々の建築物の設計にあたって、町並みを意識した景観的配慮をおこなわなければいけません。

大久保通りに平行に、北町・中町・南町と通りごとに町名が変わるこのエリアは、江戸時代には同じ間口の下級武士の屋敷が並んでいた組屋敷地が基盤となっており、お互いに行き来できない一本道が真っ直ぐに伸びています。同規模敷地の連なる整然とした町並みは今もなお継承されるべく変わらずに守られています。敷地統合の際は、外構や植栽等で既存の敷地割を基にして分節化を図り、敷地分割の際は、外構や植栽等で既存の敷地割を基にしたまとまりをつくるなどの対策がなされています。

コーポラティブハウスとは同一敷地に共同で住むことを希望する人たちが組合をつくり、住宅の設計から管理までを運営する集合住宅

のことです。各世帯の条件や希望に合わせて個別に住戸を設計することができます。また、組合員同士は早い段階からお互いに顔を合わせ、建物の外装や外構など共有する部分やこまかなことまで議論し意見をまとめる必要があるため、組合結成時から通常よりもすこし深い「ご近所付き合い」がスタートします。

設計は、スケルトン（構造躯体）とインフィル（間取りや内装・設備）、合わせて5名で担当されました。組合員のライフスタイルに合わせて設計されるため、1つとして同じ間取り、広さや仕様がありません。十人十色の各住戸にさまざまな生活があり、昔の路地裏でよくみかけたような、人びとの交差する暮らしの風景が目に見えます。

敷地は間口の狭い旗竿地で、通路はエントランスから一番奥の住戸まで伸びています。長屋のため、全ての住戸の玄関は通路に面しており、住戸を隔てる界壁はコンクリートでできているので遮音性に優れています。

住宅は「安全・性能・デザイン」の3つを大切に設計している、と設計者のアトリエ・ヒューテック 関太一氏はおっしゃいます。これまでこのエリアで3棟の集合住宅を設計されてきました。4棟目となる今回の建物はどのような工夫がなされているのでしょうか。

牛込神楽坂ハウス

住宅はプラスαの価値を

住宅を設計するうえで3つの大きな柱がある。生活を守るシェルターなので、安全な架構、躯体がしっかりしていること。そして温熱環境や遮音などの集合住宅としての基本性能。あと1つはデザインだと考えている。

今回のRC壁式構造は大地震でも倒壊した例がなく、極めて安全な架構であると思っている。温熱環境を整えるために採用した外断熱とは、蓄熱性のあるコンクリートの外側に断熱があり、夏は熱を入れずに冬は温めた空気を逃がさない。外ブラインドを採用した住戸があるが外断熱の仕組み上、2階以上の住戸に有効な装置である。建て主からお引越しの後すぐに寒くて耐えられない、との声があったが躯体が冷えきっていたため、その後、とても暖かいです、と喜んでいただいている。基本ルールとして、タテ系統のコアの位置や上下階のプランニングの調整を設計者が検討できるように縦割りとした。

敷地は建物に周囲を囲まれており、建物全体をうまく見せるのが難しい。エントランスを面白くして、あれ？と一瞬思うが、そのまま奥へ進むと建物全体の仕組みが表出する分身となるゲートであると納得できるようにした。

コーポラティブハウスの特殊性として、建て主、企画会社、設計チーム、現場とたくさんの人たちをまとめる必要がある。今まで何棟か設計してきたが、上手く進めるためには自らが「ハブ」となり、色んなことを自分を通してネットワークさせることが重要である。

(アトリエ・ヒューテック/関太一氏 談)



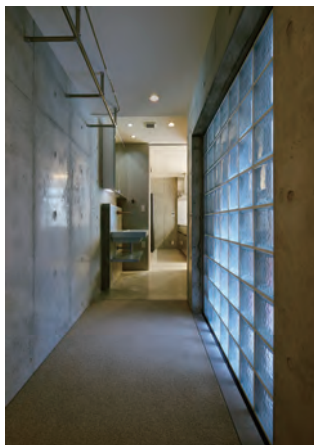
エントランスゲート



トップライトで効率的に光を取り込む



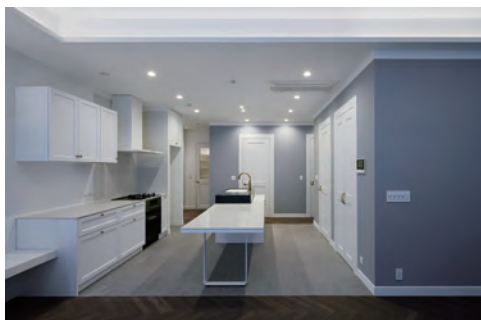
印象的な寝室入口の建具



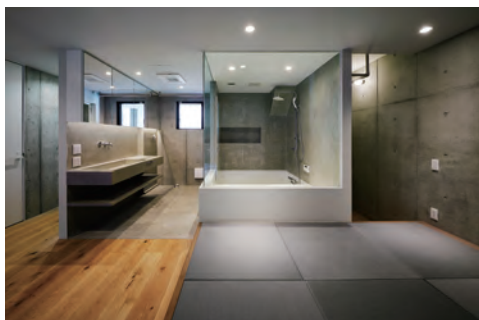
地階廊下のガラスブロック



左手キッチンの足元は一段低くなっている



地階住戸のダイニングキッチン



ガラス張りの浴室は空間を広く見せる



ポップな色とさまざまな材質の組み合わせ



吹抜けのあるリビングには暖炉



階段室に壁一面の収納



リビングの壁に沿った階段



キッチン後ろに収納。手前にワークスペース



Taichi Seki

今回は「牛込神楽坂ハウス」の設計者、関太一氏率いるアトリエ・ヒューテックの事務所にお邪魔して、お話を伺いました。

—北海道のご出身でいらっしゃいますね。

関：函館です。実家は色んな商売をしていた祖

父の仕事を受け継いで、工務店や旅館業、店舗などをしていました。子どもの頃に2度家を新築した際には母と工務店とのやり取りを間近で見ていた記憶があります。

—建築との出会いですね。その後は大学で東京に行かれたのですか。

関：高校生のときに美大に入るための予備校に通っていましたが、生徒はみんな知識があつて、コルビュジエの話や今まで聞いたことのない話をしてとても刺激的でした。予備校の先生は建築家で、磯崎新先生や竹山実先生に鍛えられて今があるとおっしゃっていて、竹山さんのところに行きたいと思いました。入所後、晴海客船ターミナル（2022年2月20日閉館）のプロポーザルを手伝い、そこから17年いることになりましたが、毎回特殊なものばかりで飽きることはありませんでした。

—竹山さんのお人柄は。

関：かなり厳しい方ですが、僕には成長できるものがあつたから続いたと思います。自分で担当するようになってからは設計するのがすごく楽しかったです。

—そんななかで独立されたきっかけを教えてください。

関：正直独立するのが遅かったと思いますが、僕に何ができるかな、何を信条にしようかと考えていたときに、「計画に携わる人たちみんながハッピーになれるような仕事をする」というのがすごく腑に落ちました。建築はどうしても近隣に対しても影響を与えるので、そこはすごく大切にしているところです。

—現在進行中のプロジェクトについて教えてください。

関：集合住宅とキャンピングカーの自動車ショールームがあります。キャンピングカーは断熱や設備など家と似ている部分が多く、依頼主の強い熱意や想いを感じたのでこの方たちの仕事をしたいと思いました。木造の大きな架構断面で、完成を楽しみにしています。今回の計画では、建設を取り巻く環境が厳しいなかで、辰さんは住宅を1戸1戸で造っているという感覚がありました。

—今回の計画でも13組の組合員の方々や現場をまとめるためにタクトを振る関様自身がとても楽しんでいらっしゃるようでした。本日はありがとうございました。



今回の計画のインフィル設計の皆さんと一緒に（後列左から）

アトリエ・ヒューテック 池田氏、倉石・山木一級建築士事務所 倉石氏、プラグ建築研究所 千葉氏。この日はご不在でしたがスケルトン担当はアトリエ・ヒューテックの中迫氏

牛込神楽坂ハウスの模型と関氏



落ち着いた色使いのLDK



ホテルライクな浴室と洗面室

所在地：新宿区
構造：RC造
規模：地下1階・地上3階・塔屋1階
用途：長屋
設計・監理：アトリエ・ヒューテック
施工担当：村山・田所・小坂・菅野
竣工：2022年12月
撮影：フォワードストローク



神楽坂南町ハウス（2010年）

関 太一（せき たいち）

1961年 北海道函館市生まれ
1986年 武蔵野美術大学造形学部建築科卒業
1986年 同大学院竹山実研究室研究生
1988年 竹山実建築総合研究所入所
1989年 SDレビュー入選
2005年 竹山実建築総合研究所退所
2006年 アトリエ・ヒューテック設立

「2023年度 株式会社辰 安全衛生協力会 安全大会開催」 2023年1月26日 — TKPガーデンシティ渋谷 —

1月26日、TKPガーデンシティ渋谷において2023年度辰安全衛生協力会の安全大会が開催されました。安全衛生協力会とは、辰と協力会社の皆さまが無事故無災害を目指す活動をおこなうものです。

昨年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を考慮し4月に開催いたしましたが、本年度は通例通り1月の開催となりました。会場入場時に検温、消毒、場内は換気をおこない感染予防の徹底、また通常3部構成での内容だったところを2部構成に縮小しての開催です。



来賓挨拶：麦島悦司様

はじめに小関邦昭安全衛生協力会会長の挨拶、夏井安全衛生委員長の報告に続き、来賓の麦島悦司(株)麦島建設代表取締役、古賀智道池田建設(株)代表取締役の挨拶をいただきました。



来賓挨拶：古賀智道様

第1部は、安全パトロールなどの活動報告、決算報告、次年度活動計画・予算案承認、新年度役員改定（今年は全役員重任）に続き、通例に従い、安全作業所の表彰、安全標語入賞作品紹介

がおこなわれました。(仮称)港区西新橋1-9計画新築工事の現場所長 山川による安全宣言と最優秀賞を受賞した標語を唱和し、終了しました。



山川所長による安全宣言

続く第2部では今期の業績、今後のビジョンについて、代表の岩本より数字を



■安全作業所表彰

左から・(仮称)港区西新橋1-9計画
新築工事 現場所長 山川 保晴
・(仮称)目黒区緑が丘二丁目計画
新築工事 現場所長 郷 裕



■安全スローガン入賞表彰

・最優秀賞 (株)服部架設工業 服部直樹氏 作
「新時代 変わる環境 変わらぬ安全」

挙げての報告がおこなわれ、目標達成への改善に向けて、協力業者様に更なる連携をお願いしました。その後、優良協力会社、匠の発表がおこなわれ、各部署の現況報告がおこなわれました。



最後は渋谷労働基準監督署 安全衛生課 安全衛生課長 明間 協力会社様も参加しての安全大会

総務をお招きし、「建設工事における安全衛生管理」について講演いただきました。建設現場での事故発生の現状や実際の事例、建設現場での安全対策と計画、今年度から実施される制度の変更や留意点など、さらなる安全意識向上に繋がる内容をスライドと手元資料を元に詳しくお話いただきました。

東京労働局によると令和3年の東京都内で発生した労働災害のうち、死亡災害は77人と前年比で38人増え、その内建設業は全体の36%を占める28人だったそうです。東京労働局は「トップが打ち出す方針 みんなで共有生み出す安全・安心」をキャッチフレーズに、第13次東京労働局労働災害防止計画を立て、災害発生防止に取り組んでいます。SHINCLUB263号でご紹介いたしました、フルハーネス型墜落制止器具の着用義務もその1つ。



明間聡様による講演

日々の安全管理を徹底し、現場管理に取り組んでまいります。



東京労働局によるセーフワークの公式ロゴ。建設現場に掲げられます。



■優良協力会社表彰

右から・株式会社 荒井鉄筋工業所
・株式会社 ワカバ
・関ヶ原石材 株式会社
・有限会社 共立設備
・有限会社 小島鋼業 ※本日欠席



■「匠」表彰

右から・多田浩規氏/有限会社 多田園工務店
・八田幹男氏/株式会社 ワカバ
・嶋田毅氏/株式会社 嶋田工務店

「(仮称)代々木上原プロジェクト」新築工事 地鎮祭

2023年2月3日



閑静な住宅街に計画中の建物です。情熱をもって取り組んでまいります

構造/規模: RC造/地上3階
用途: 専用住宅
設計: ハル・アーキテクト一級建築士事務所 + エリサ スミタデザイン
施工担当: 谷田・小坂・柴道
完成予定: 2023年11月

エトルデザインの高山まさき氏が

「木のしつらゑ、根のかたち」展を開催

2月27日～3月4日 — 銀座 巷房2・階段下 —

建築家の高山まさき氏の、アーティストとしての展覧会がおこなわれました。鳥海山・神代杉のテーブル、薄く繊細に造形された黒柿の花入れやお皿など、木の魅力を活かした美しい作品が、1本の木の唯一無二の魅力を伝えていました。



造形美なテーブル



黒柿を使用した作品

編集後記

・日中の気温が高くなり、春を感じる日が増えてきました。朝晩の気温変化が大きくなる季節になります。体調管理をしっかりして、新年度を迎える準備を整えたいですね。

(株)辰 通信 Vol.276 発行日 2023年3月10日
編集人: 本間夏来/村上由衣 発行人: 岩本健寿
〒150-0002 東京都渋谷区渋谷3-8-10 JS 渋谷ビル5F TEL:03-3486-1570
FAX:03-3486-1450 E-mail: daihyo@esna.co.jp URL:http://www.esna.co.jp



「SHIN CLUB」はWEB上でもご覧いただけます。

バックナンバーもPDFで掲載しています。スマホはこちらから→

